

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標: 家庭を中心とした人間生活における人と環境との相互作用について考察し、学習指導要領で求める家庭科の内容と方法について深く理解し、専門的な指導ができるようになる。DPの「栄養学の幅広い視野に立って精深な学識を有する者」の達成のため、食文化科学領域の知見を深める。

授業の概要: 生活の捉え方を深く考察した上で、現代社会の諸課題と生活との関連を理解する。さらに、家庭科教育における生活課題解決能力を育成する専門的な指導について立案する。

【授業計画】

- ① 生活における価値意識と意思決定
- ② 生活時間と生活資源
- ③ 生活におけるお金と様々な価値
- ④ 環境問題と生活
- ⑤ 情報と生活
- ⑥ 家庭科教育学における研究の動向
- ⑦ 生活課題解決能力を育成する指導法

【授業外学習】

授業時に指示する研究論文・文献・資料を読み、予習・復習を授業時間の倍程度行うことが望ましい。

【成績評価の方法・基準】

授業における発表やコメント(50%)、及び課題レポート(50%)により、総合的に評価する。課題レポートに対しては講評を返却する。

【教科書】

随時プリントを配付する。

【参考書】

(一社)日本家政学会 家政学原論部会 編『やさしい家政学原論』建帛社, 2018

【教材】

授業の際に適宜配付する。

【備考】

特になし